TAA-1ET100099-00

MD1230/MP1590 RemoteTester.exe Readme

2011 年 1 月 12 日 アンリツ株式会社

はじめに

RemoteTester.exe（以降，本プログラム）は，MD1230/MP1590 ファミリのイーサネットコントロールオプションを利用してリモートコマンドを送受信するプログラムです。テキストファイルに記載されたリモートコマンドを一括して送信できます。

制約事項

本プログラムを動作させるには以下が必要です。

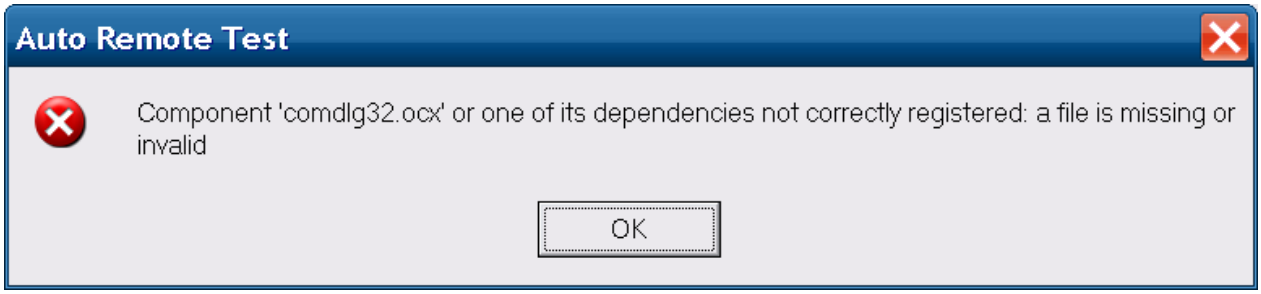
- MD1230/MP1590 ファミリ本体（MD1230B または MP1590B）
- イーサネットコントロールオプション
- イーサネットモジュール（MU1201XXA）

プログラムのインストール

RemoteTester.exe を含むフォルダ全体を，PC または MD1230/MP1590 のハードディスクにコピーしてください。

プログラムの起動

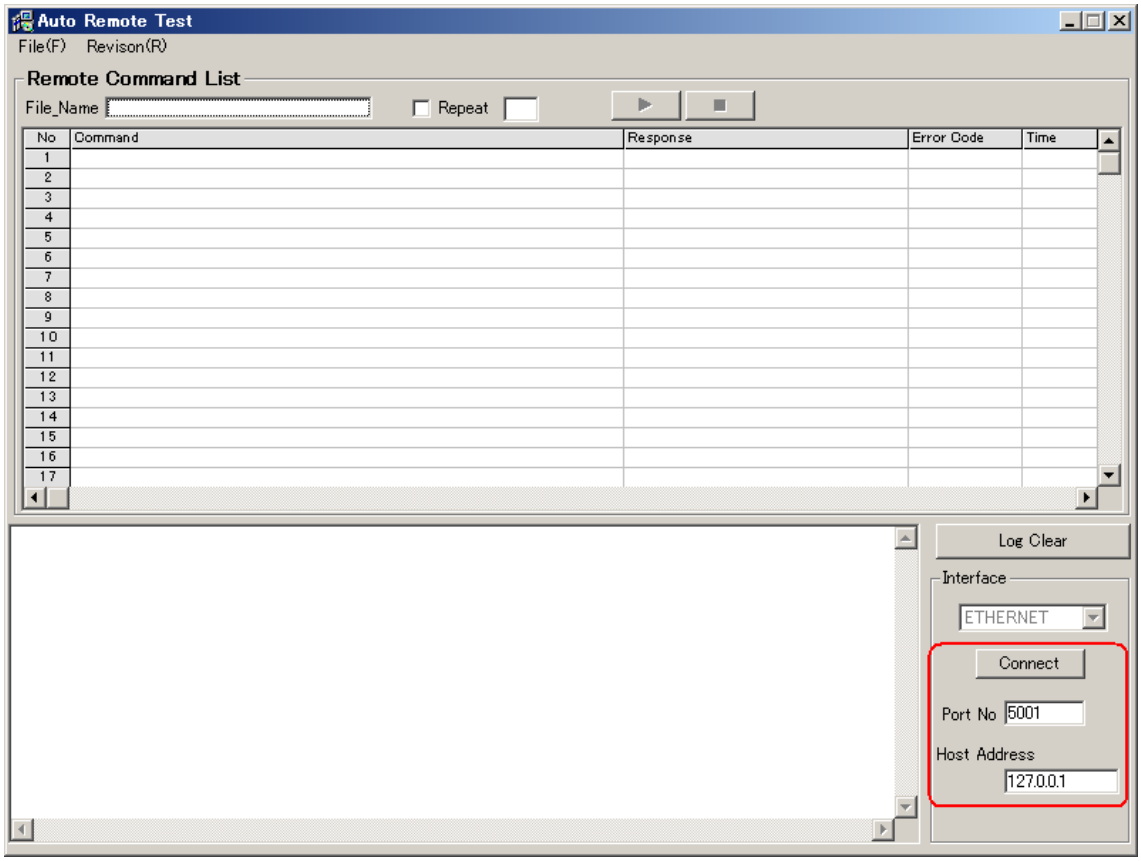
RemoteTester.exe をダブルクリックすると起動します。このとき，以下のようなエラーメッセージが表示されて起動しない場合は，ocx フォルダ中の instocx.bat をダブルクリックしてください。



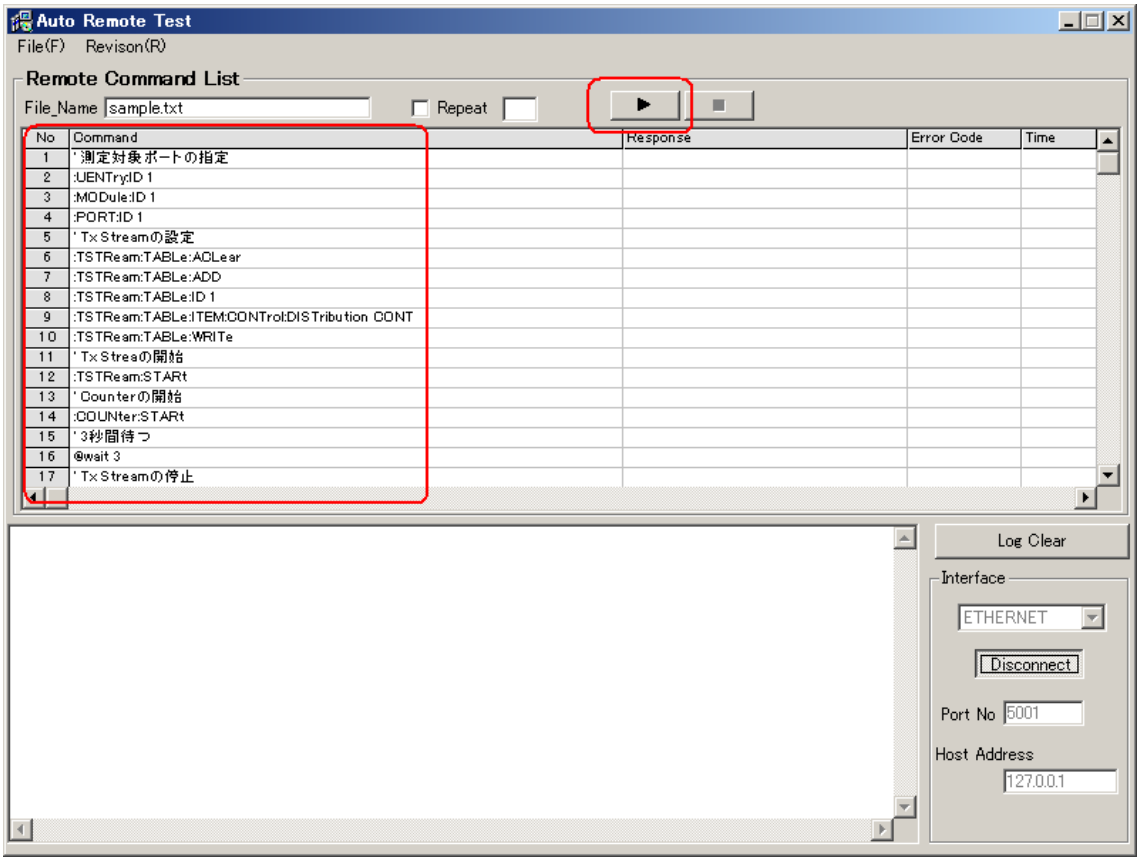
プログラムの使用方法

インストールしたフォルダにあるサンプルファイル（sample.txt）を実行する場合を例にして説明します。実行可能なファイルのフォーマットについては，後述の「送信ファイルフォーマット」を参照してください。

1. MD1230/MP1590 ファミリ本体にイーサネットモジュールを挿入します。
   →サンプルファイルは Slot1,で動作します。モジュールが Slot 1 に挿入されていない場合は，サンプルファイルの「:MODule:ID 1」の箇所を編集してください。
2. イーサネットコントロールオプションをセットアップします。
   → セットアップの詳細は「MD1230B リモートコントロール取扱説明書」の「第 4 章イーサネットインタフェース」を参照してください。
3. RemoteTester.exe をダブルクリックすると，以下の画面が表示されます。
4. 画面右下の［Host Address］と［Port No］に接続先の MD1230/MP1590 ファミリ本体の IP アドレスと TCP ポート番号を入力し，［Connect］ボタンをクリックします。
   →［Connect］ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示される場合は後述の「トラブルシューティング」を参照してください。

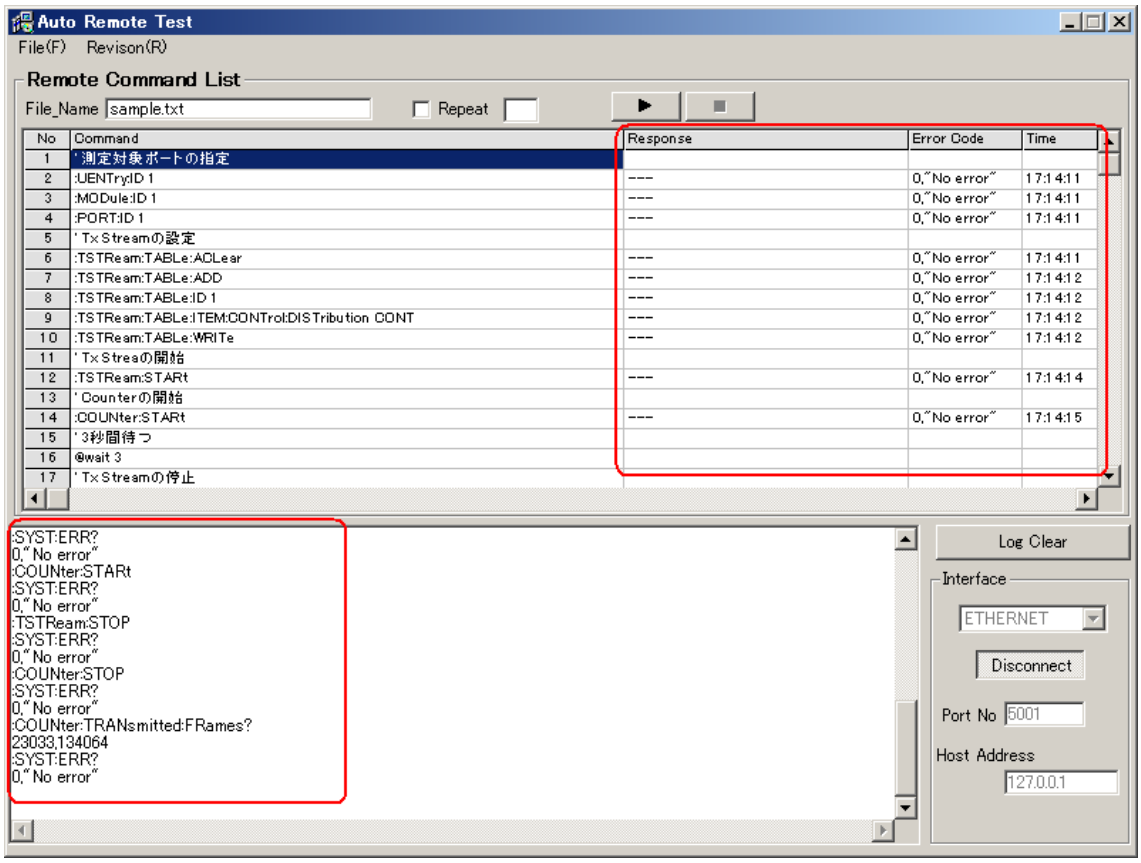


5. 画面左上の［File]-[Open］をクリックし，サンプルファイル（sample.txt）を選択します。ファイルの内容が画面上に表示され，実行開始ボタン▶ が有効になります。



6. 実行開始ボタン▶ をクリックすると，ファイルに記入されたリモートコマンドが送信され，送信結果が表示されます。

- 送信結果はファイルにも出力されます。
  ファイル名は読み込んだファイルと同じで拡張子が.res となります。
- 本プログラムはファイルに記入されたリモートコマンドを送信するたびに:SYST:ERR?を送信し，送信したリモートコマンドのエラーチェックとコマンドの処理完了待ちを行います。:SYST:ERR?のレスポンスは Error Code 欄に表示されます。
  → :SYST:ERR?のレスポンスの待ち時間は 5 分，それ以外のコマンドの待ち時間は 5 秒です。
-
- クエリコマンドを送信した場合は Response 欄にレスポンスデータが表示されます。



- ファイルの内容を繰り返し送信する場合は，[Repeat] チェックボックスにチェックを入れ，繰り返し回数（99 まで）を入力して実行開始ボタンを押します。
  - このときの送信結果ファイルは繰り返しの数だけ作成されます（ファイル名には繰り返し数が付きます)。
- ファイルの実行を中断したい場合は，実行停止ボタン■をクリックします。
- ログ出力内容の表示をクリアする場合は画面右下エリアの［Log Clear］ボタンをクリックします。
- リモート接続中に接続を解除する場合は画面右下エリアの［Disconnect］ボタンをクリックします。

付録: 送信ファイルフォーマット

項目	説明
ファイル名の拡張子	*.txt としてください
リモートコマンド	送信するコマンドの文字列をそのまま記入してください
コメント	「'」から始まる行はコメントとして扱われます
@wait *time*	time で指定した秒数の間実行を停止します
行数	読み込み可能行数は 1000 行です

送信ファイルの例

```
' 測定対象ポートの指定
:UENTry:ID 1
:MODule:ID 1
:PORT:ID 1

' Tx Stream の設定
:TSTReam:TABLe:ACLear
:TSTReam:TABLe:ADD
:TSTReam:TABLe:ID 1
:TSTReam:TABLe:ITEM:CONTrol:DISTribution CONT
:TSTReam:TABLe:WRITe

' Counter の開始
:COUNter:STARt

' Tx Stream の開始
:TSTReam:STARt

' 3 秒間待つ
@wait 3

' Tx Stream の停止
:TSTReam:STOP

' Counter の停止
:COUNter:STOP

' Counter の読み出し
:COUNter:TRANsmitted:FRames?
```

付録: トラブルシューティング

Connect ボタンを押したときにエラーメッセージが表示されて接続できない場合は，以下の内容を順に確認してください。

確認項目	説明
リモートコントロールオプションの設定は行われていますか?	リモートコントロールオプションの設定は Setup Utility 機能の Remote タブで行います。詳細は「MD1230B リモートコントロール取扱説明書」の「第 4 章イーサネットインタフェース」を参照してください。
Main Application は起動していますか?	Main Application が起動していないと接続できません。
接続先の IP アドレスに対して Ping は通りますか?	Ping が通らない場合は IP アドレスの設定が適切に行われていない可能性があります。IP アドレスの値は Setup Utility 機能の IP Address タブで確認できます。
接続先の IP アドレスは Unit ではなく，Windows 側の IP アドレスにしていますか?	Windows 側の IP アドレスに接続する必要があります。
TCP ポート番号	接続に使用しているポート番号は，Setup Utility 機能の Remote タブで設定されているものと同じである必要があります。
ファイアウォールの設定	Windows ファイアウォールの設定で使用するポート番号をブロックするようになっていないでしょうか?